

## 天気予報アプリ「ウェザーニュースタッチ」の新バージョンをリリース 雨雲の動きを15時間先まで表示！アプリのレーダー機能を強化 ～250mメッシュで表示する“Zoomモード”も展開、豪雨災害の被害軽減へ～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、累計1,500万ダウンロードの天気アプリ「ウェザーニュースタッチ」をリニューアルし、レーダー機能を強化しました。今回のリニューアルでは、アプリ「ウェザーニュースタッチ」内の「雨雲レーダーCh.」の予測時間を、これまで6時間先までだったところ、15時間先まで延長しました。これにより、大雨が予想される際も、より早い段階でスケジュールを変更するなど大雨対策の参考にすることができます。

ウェザーニューズは、気象災害による被害を少しでも減らすべく、アプリの機能性・利便性を高め、予報精度の高い気象情報を提供できるよう、今後も更なるバージョンアップをしていきます。

「雨雲レーダーCh.」のご利用はこちら	本プレスリリースの素材ダウンロードはこちら
スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後「雨雲レーダーCh.」にアクセス	ウェブ版プレスリリース 「雨雲レーダーCh.が15時間表示に対応」 <a href="https://jp.weathernews.com/news/23632/">https://jp.weathernews.com/news/23632/</a>

### ◆雨雲の動きを15時間先までマップ表示！アプリ「ウェザーニュースタッチ」の「雨雲レーダーCh.」

今回リニューアルした天気アプリ「ウェザーニュースタッチ」の「雨雲レーダーCh.」は、気象庁の「降水短時間予報」を利用したコンテンツで、降水分布予測を1時間ごとに15時間先まで確認することができます。例えば、帰宅時間帯の雨の有無や強さを、朝の通勤・通学前に把握できるので、持ち物の参考にしたり、移動手段やスケジュールの変更を、より早い段階で検討することができます。

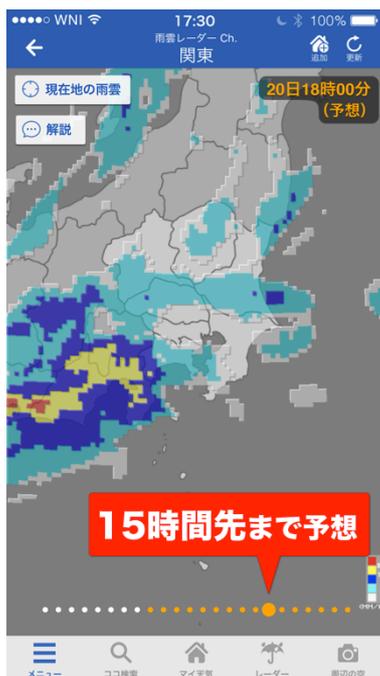
なお、「雨雲レーダーCh.」の予測解像度は、6時間後までは1kmメッシュ、7時間後～15時間後までが5kmメッシュとなっています。

雨雲の動きをさらに細かく知りたい場合は、アプリ「ウェザーニュースタッチ」の独自機能である、“Zoomモード”(※)との併用がおすすめです。

“Zoomモード”では、250mメッシュと高解像度な降水分布予測を、3時間後まで/10分間隔で確認することができます。一般的な雨雲レーダーや降水予測は、30分より先の降水分布については、1kmメッシュでしか予測できないため、きめ細かい“Zoomモード”は、多くの利用者からご好評いただいているサービスの1つです。

梅雨の最盛期を迎え、この先秋にかけて豪雨災害が心配な季節となります。「雨雲レーダーCh.」と“Zoomモード”を上手く活用し、日々の生活はもちろん、気象災害による被害軽減のためにお役立てください。

※“Zoomモード”参考:業界初、250メッシュ/3時間先まで！新雨雲レーダー (<https://jp.weathernews.com/news/23532/>)



「雨雲レーダーCh.」(サンプル)



250mメッシュで雨雲の動きがわかる“Zoomモード”(サンプル)